令 和 ４ 年 度 モ ニ タ リ ン グ シ ー ト

【施設名等】

施　設　名	大洲市老人デイサービスセンター若宮	位　置	大洲市若宮６２５番地の４
指定管理者名	社会福祉法人　大洲市社会福祉協議会	所管課	高齢福祉課 TEL0893-24-1714

【施設の概要】

設　置　年　月　日	平成７年１１月１日	構　造	鉄筋コンクリート造 地上１階建て
設　置　目　的	利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。		
施　設　機　能	高齢者福祉活動の拠点としての機能		
利　用　料　金　等	介護報酬の１割、２割又は３割及び実費		
開　館　・　閉　館	開館 午前８時３０分　閉館 午後５時１５分		
指　定　管　理 業　務　内　容	介護保険サービス事業・総合事業（通所型サービス）		
施　設　管　理　体　制	常勤：管理者１名、看護師１名、介護員１名　非常勤：介護員２名、生活相談員１名、看護師１名、運転手１名、清掃員１名		

【施設利用者数】

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
Ｒ０４年度	240	253	247	226	226	163	206
Ｒ０３年度	237	229	245	243	253	252	238
比　較	3	24	2	△17	△27	△89	△32

	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
Ｒ０４年度	201	207	206	182	169	2,526
Ｒ０３年度	245	234	230	214	244	2,864
比　較	△44	△27	△24	△32	△75	△338

【指定管理者としての収入・支出（決算）】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
経常経費補助金収入（愛媛県）	1,394,830	人件費支出	21,774,103
経常経費補助金収入（大洲市）	108,000	事業費支出	3,672,396
介護保険事業収入	24,562,930	事務費支出	1,060,511
その他の収入	400,000	負担金支出	38,000
積立資産取崩収入	627,257	固定資産取得支出	459,800
		積立資産支出	106,020
合　計	27,093,017	合　計	27,110,830

※　指定管理料なし。

【サービス向上に向けた取り組み】

Ｒ０４年度	利用者家族との日常会話や連絡を密に行うことで、良好な関係性を構築する事ができた。職員間でコミュニケーションツールを活用、意思疎通を図り全員で業務にあたる意識を共有した。設備面での不便をマンパワーで補う事で安心、安全なサービスの提供を行った。季節に合わせた創作等のレクリエーション活動を毎月行い、１年を感じながら過ごして頂けるように努めた。また、新型コロナ対策を継続、徹底しながらドライブレク等の外出行事を再開した。
Ｒ０３年度	職員の研修を定期的に行い意識の向上に努めた。満足度調査を実施し、ご家族、ご利用者様の一人一人の声を聴き心に寄り添ったきめ細やかな介護を行った。毎月の創作活動やおやつ作り等のレクリエーション活動を通し意欲向上に繋がるよう、そして古い施設が故の不便さを利用し生活リハビリとし、さらに今年度より取り入れた機能訓練を積極的に行い身体機能低下の予防に努めた。新型コロナウイルス対策としてご利用者様やご家族に留意点の文章を配布し、健康チェック、車両の消毒の徹底、飛沫感染防止シート、マスクの着用の徹底、空気清浄機等での感染予防に努めた。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
外出行事（ドライブ）がしたい。	県内の感染状況の把握と感染対策を徹底した上で実施（途中降車なし）。

【指定管理者の自己検証】

１．協定書や仕様書に基づき、当初の事業計画どおりに事業を実施する事ができた。
２．大洲市と連携をとりながら、指定管理者として、利用者からの意見・要望に耳を傾け、事業所内で共有したうえで、回答・対応しながら施設の管理運営を行った。
３．職員間で共有した「運営マニュアル」の点検を行った。
４．安全管理については、マニュアルを活用した研修を実施し、また事故発生に対する検証や対策の確認を行った。
５．指定管理者として、利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づいて適切なサービスが提供できるような健全な施設運営を心がけた。
６．PR 活動等を含めた新規利用者の確保に向けた対策を講じた。
７．本所と連携・協力しながら実績確認等を実施し、管理運営の効率化に努めた。

【施設所管課の検証・評価】

事業実施については、指定管理に関する基本協定書及び仕様書の内容を満たしている。
利用者や利用者の家族の心に寄り添った介護をすることで、利用者及び職員間にも信頼関係が築けている。
また、新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、行事を再開し、利用者の生活における満足度向上にも努めていた。
令和４年度年間利用者数が２，８６４人と、前年度より３３８人減少しており、新型コロナウイルスによる利用控えが起因しているものと思われる。引き続き、更なるサービスの向上を図っていただきたい。